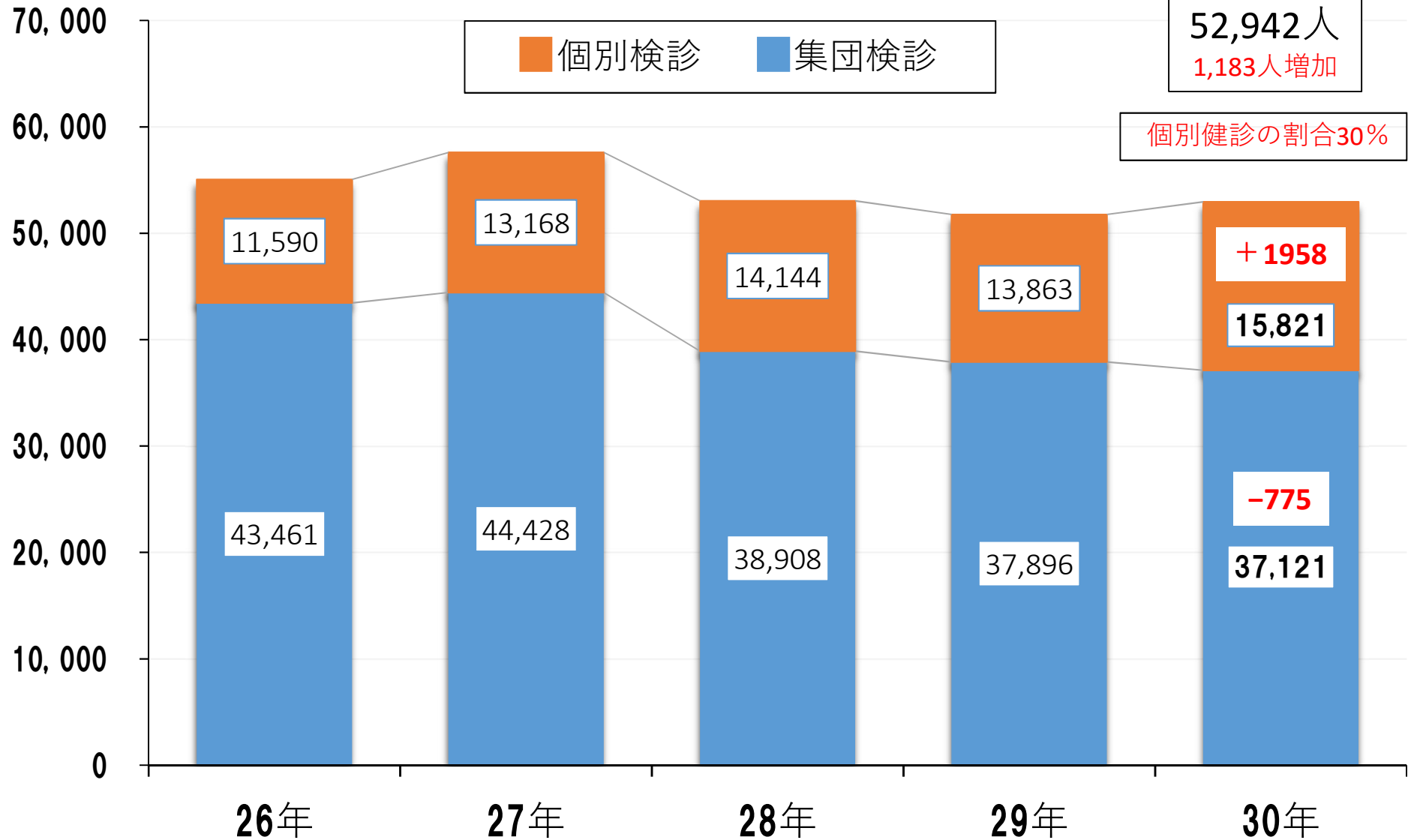


平成30年度 大腸がん検診 結果報告

公益財団法人 福井県健康管理協会
稲葉 一郎

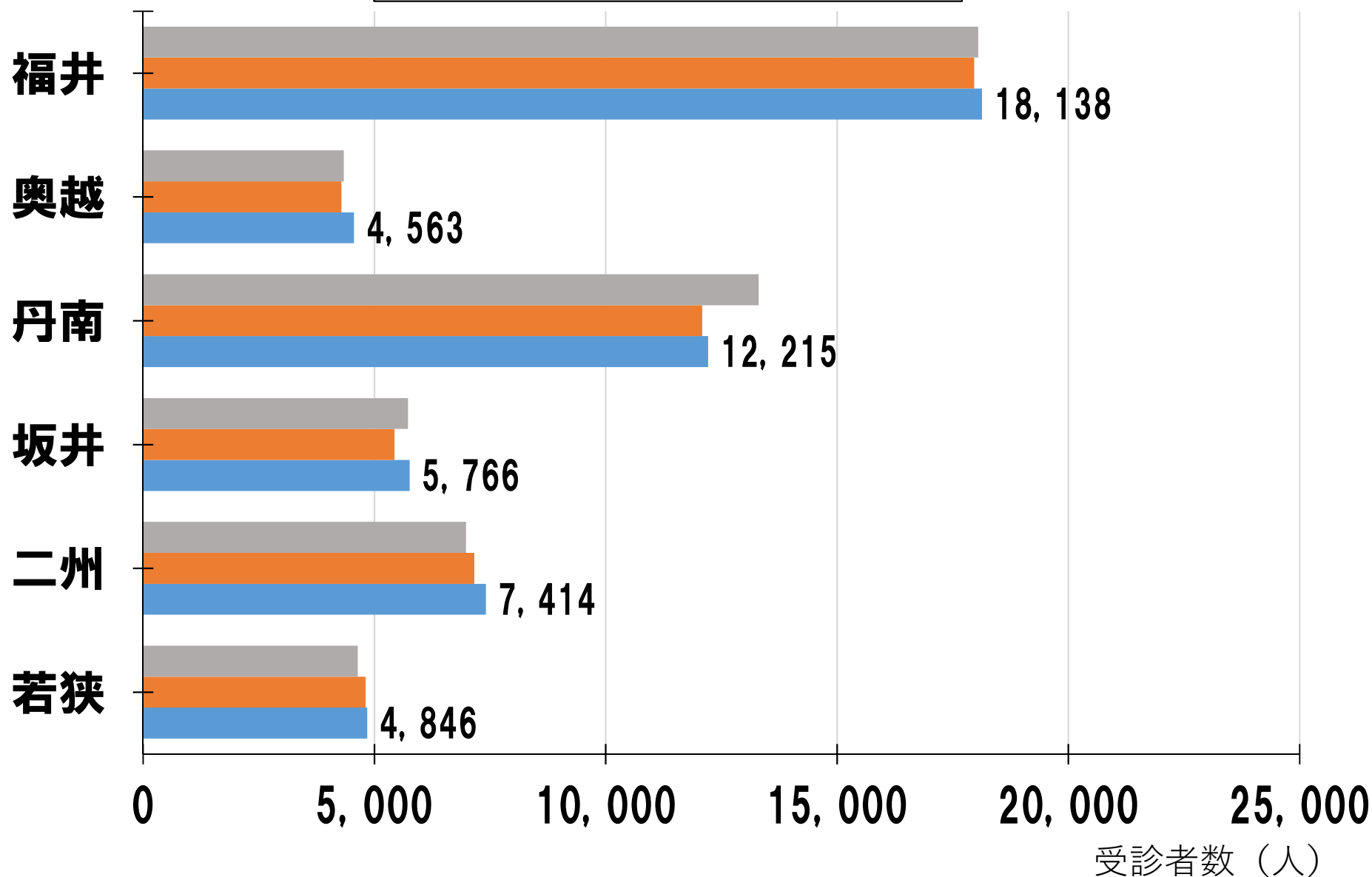
受診者数の推移

受診者数（人）



健康福祉センター管内別受診状況(全体)

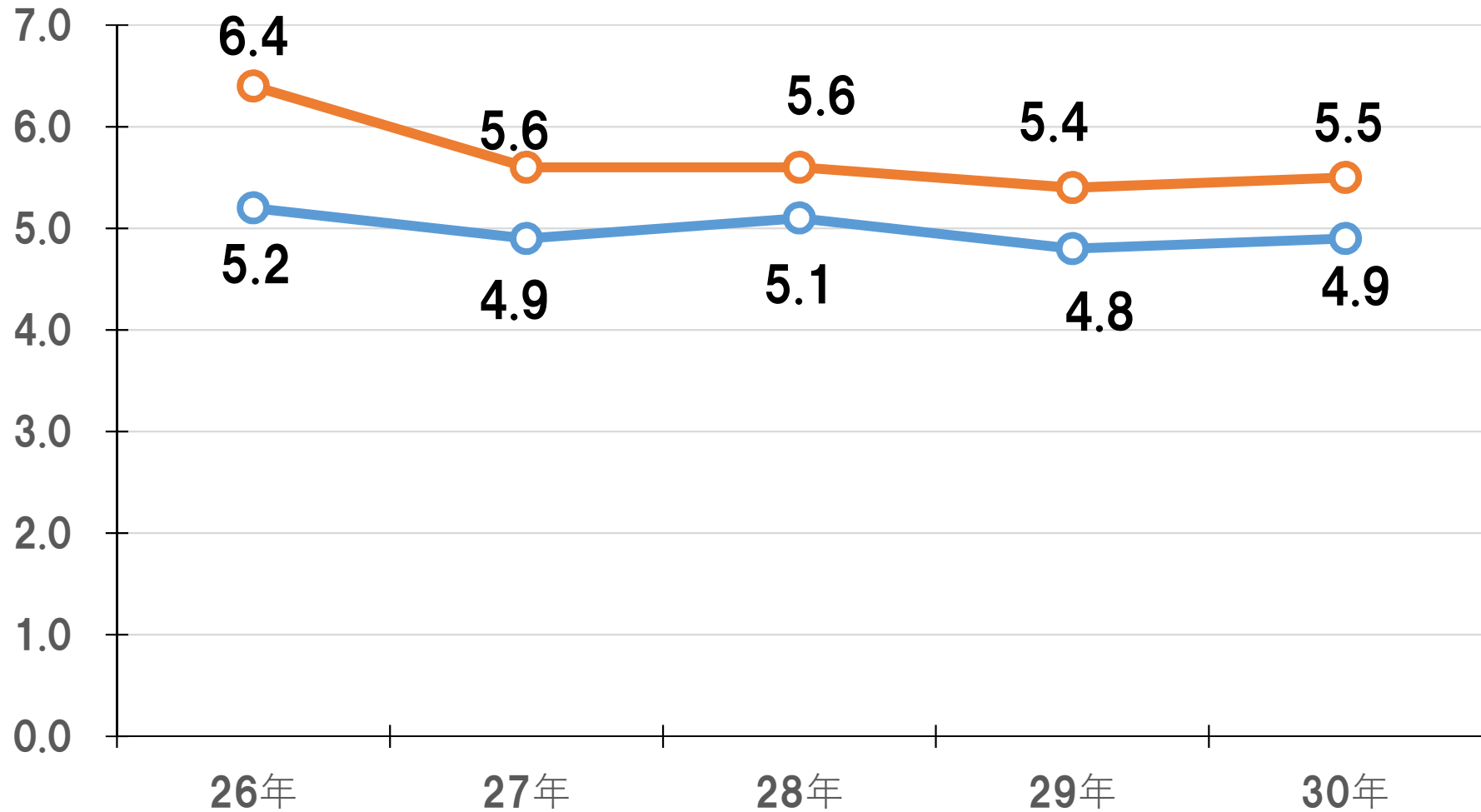
平成28年 平成29年 平成30年



要精検率の推移

要精検率（％）

要精検率（集団） 要精検率（個別）

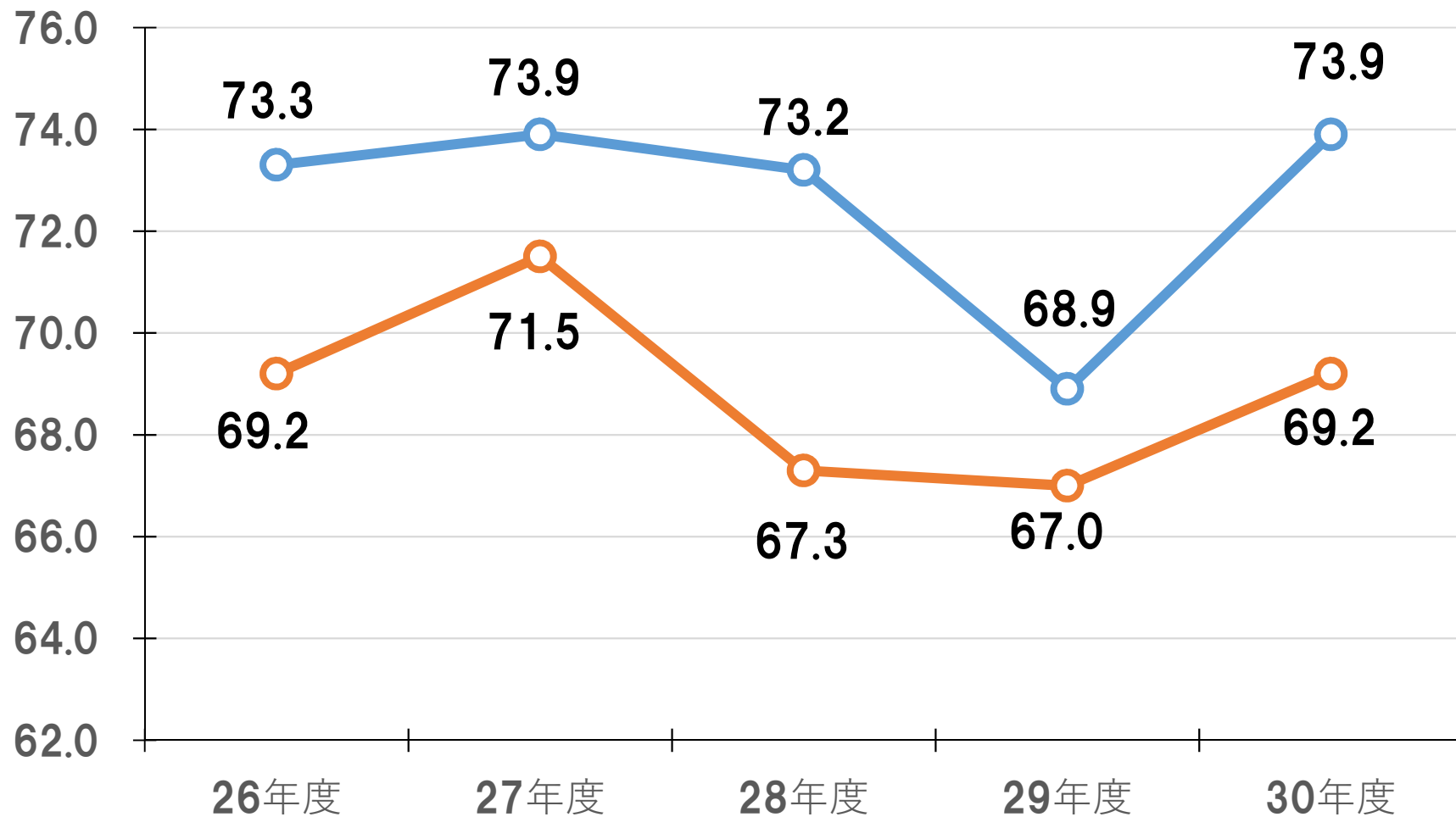


参考：全国（平成29年度地域保健・健康増進報告書） 要精検率 6.2％

精検受診率の推移

精検受診率（％）

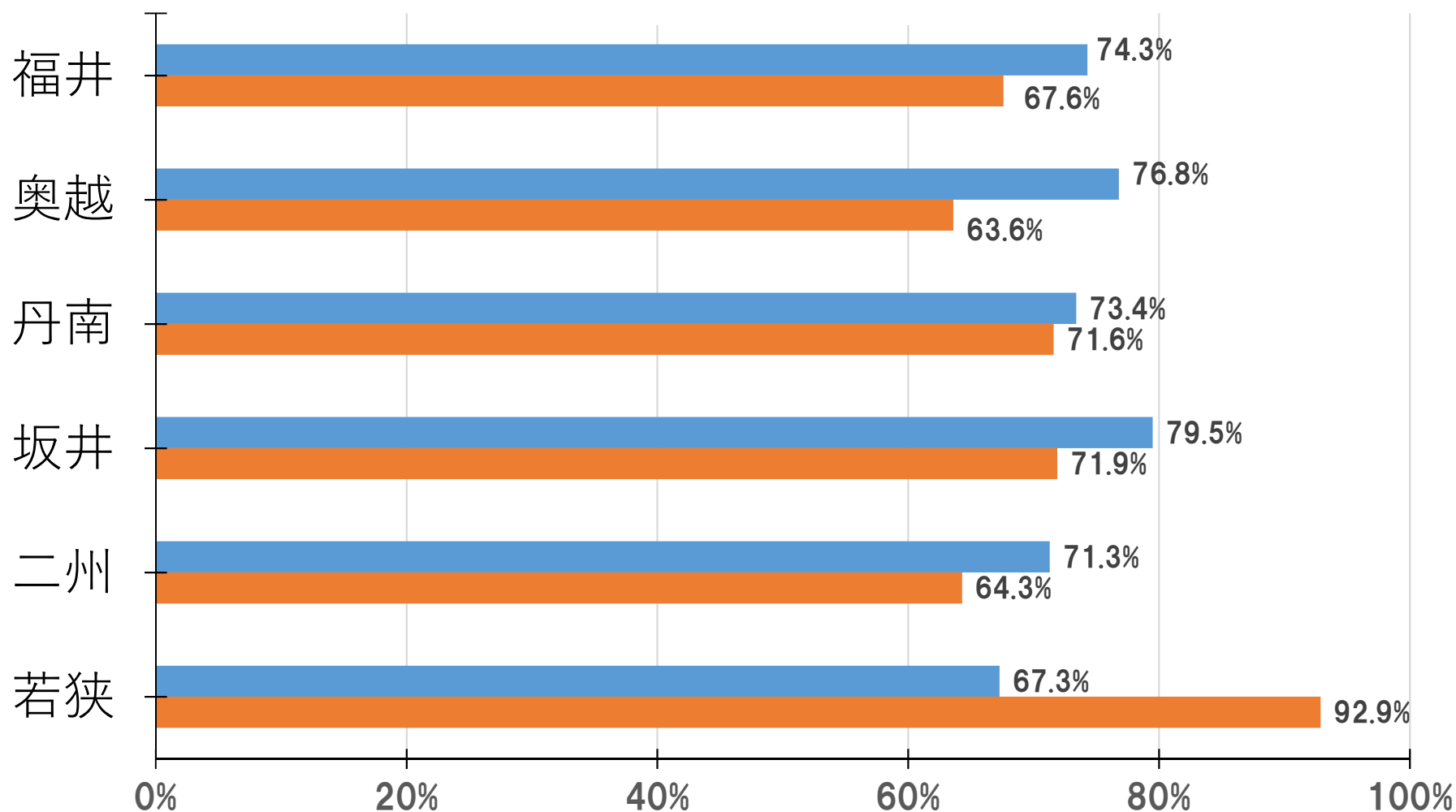
要精検率(集団) 要精検率(個別)



参考：全国（平成29年度地域保健・健康増進報告書） 精検受診率 69.5%

健康福祉センター管内別精検受診率

■ 集団検診 ■ 個別検診

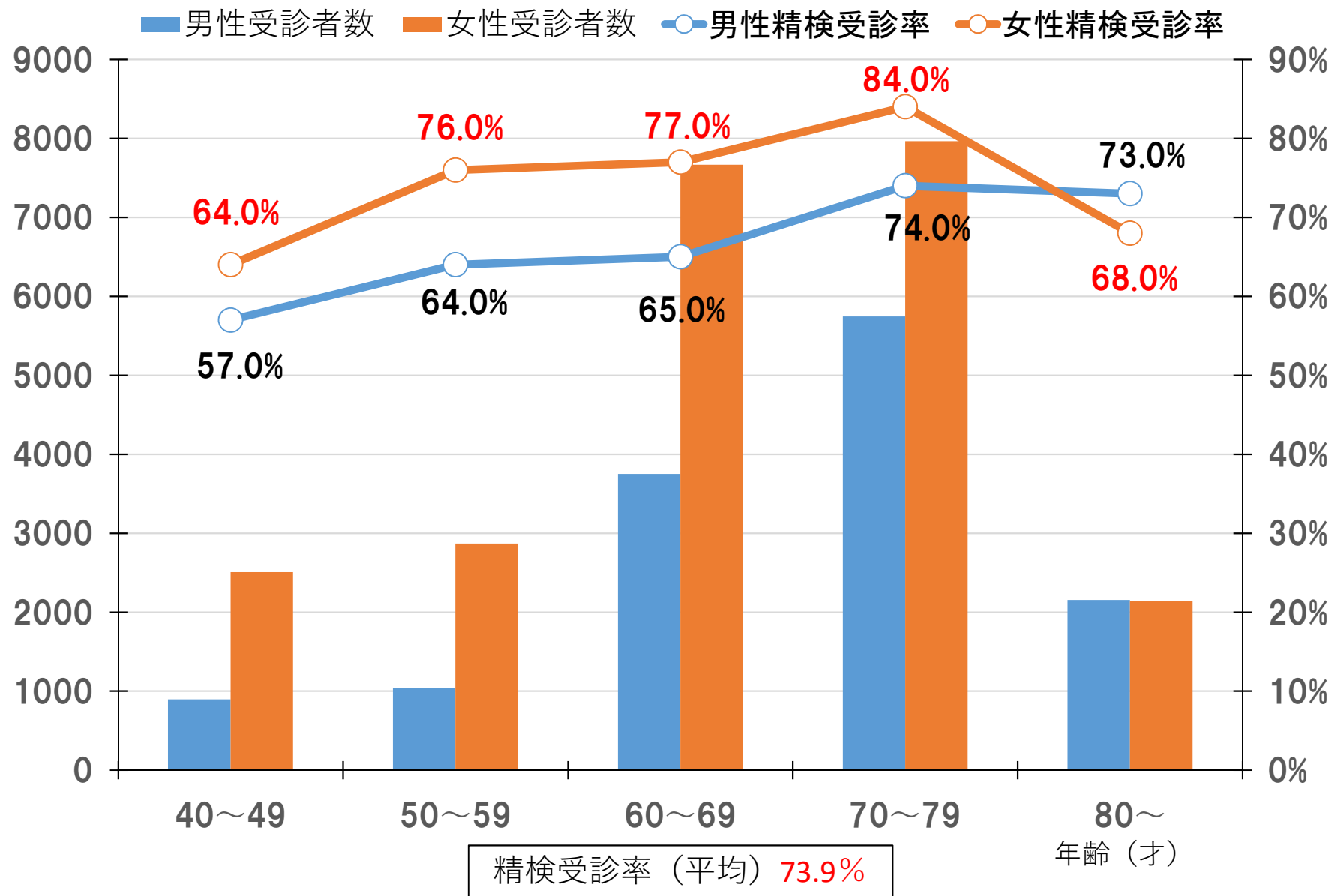


平均（集検） 73.9% 平均（個別） 69.2%

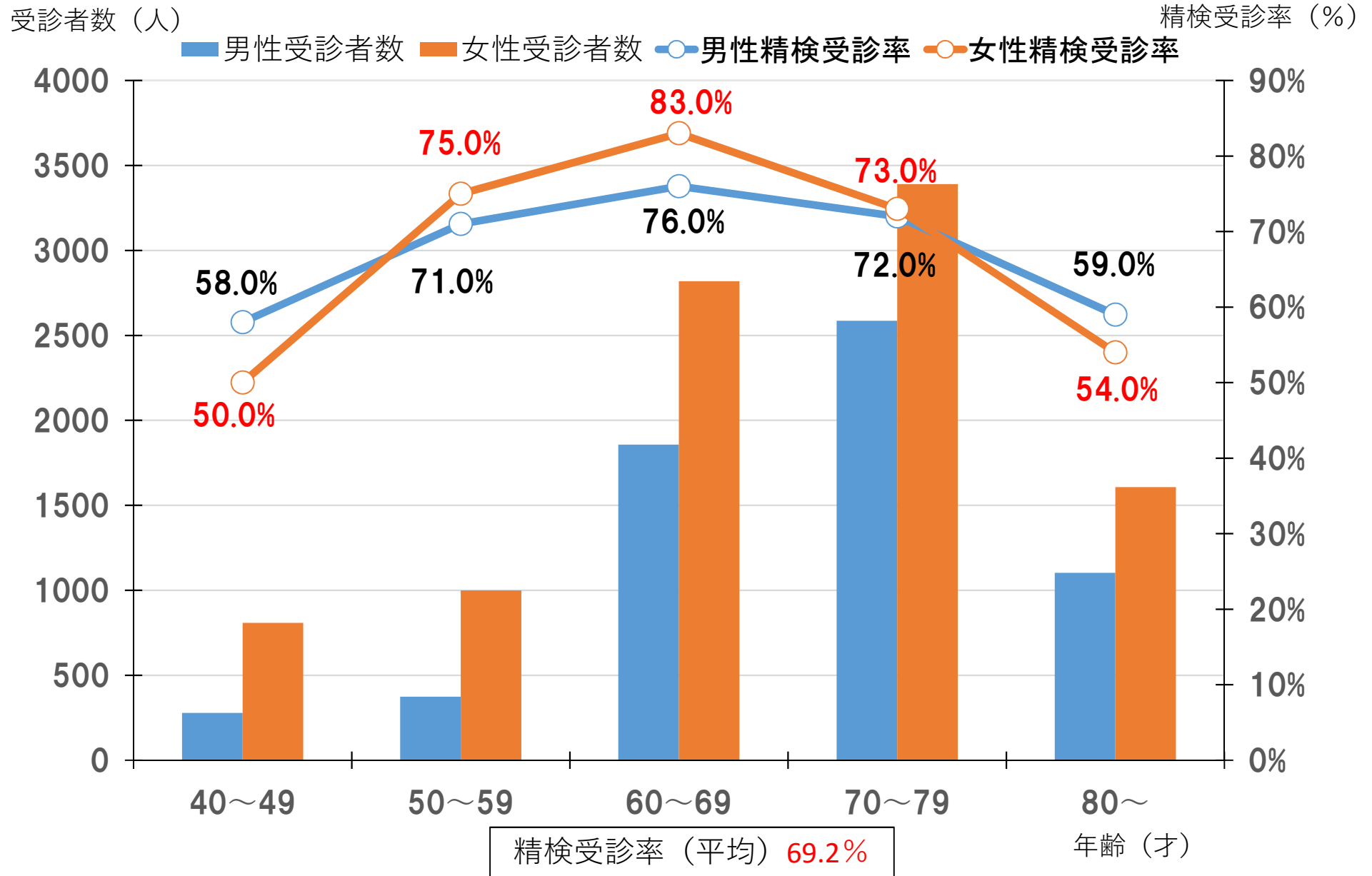
年齢別精検受診率(集団)

受診者数 (人)

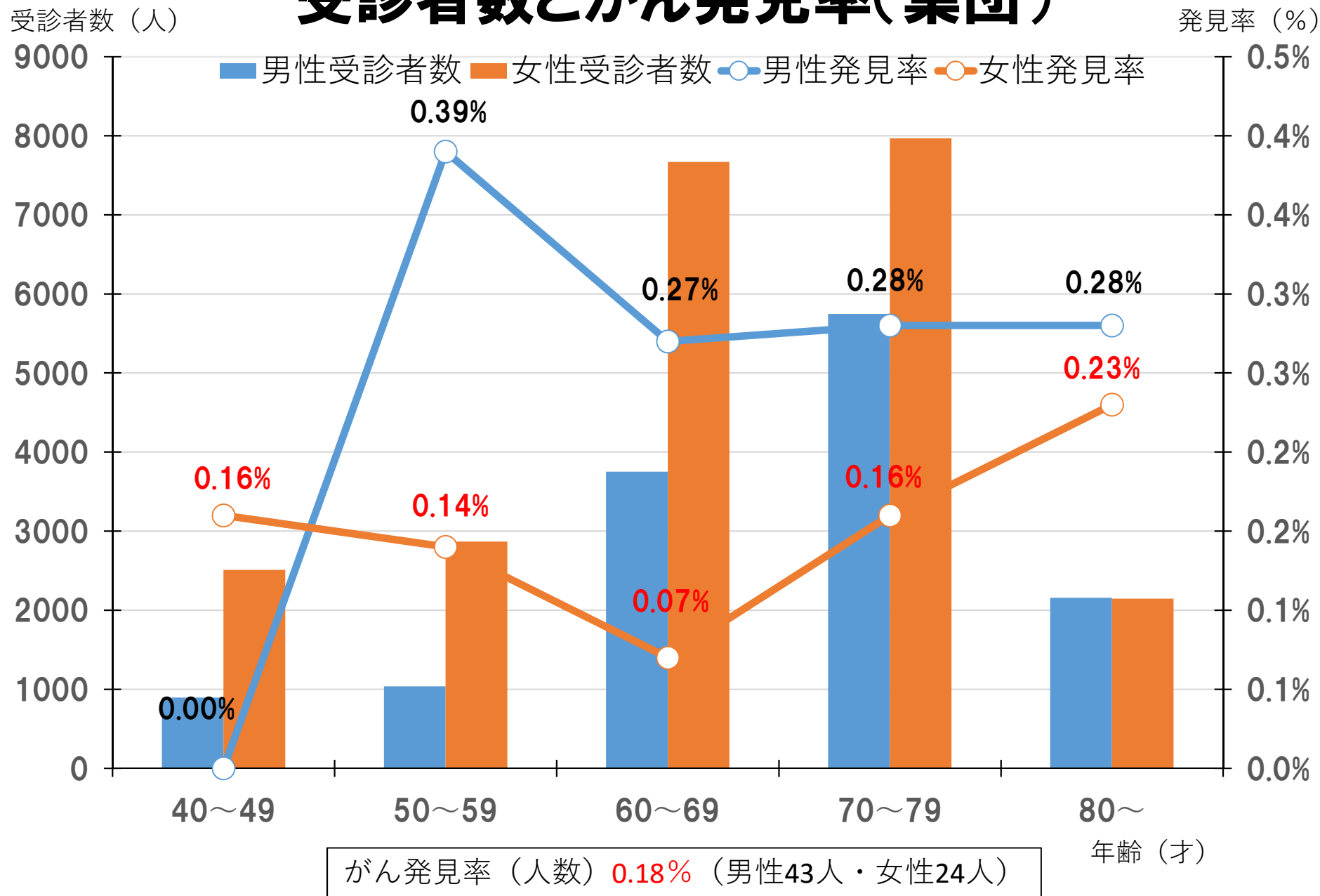
精検受診率 (%)



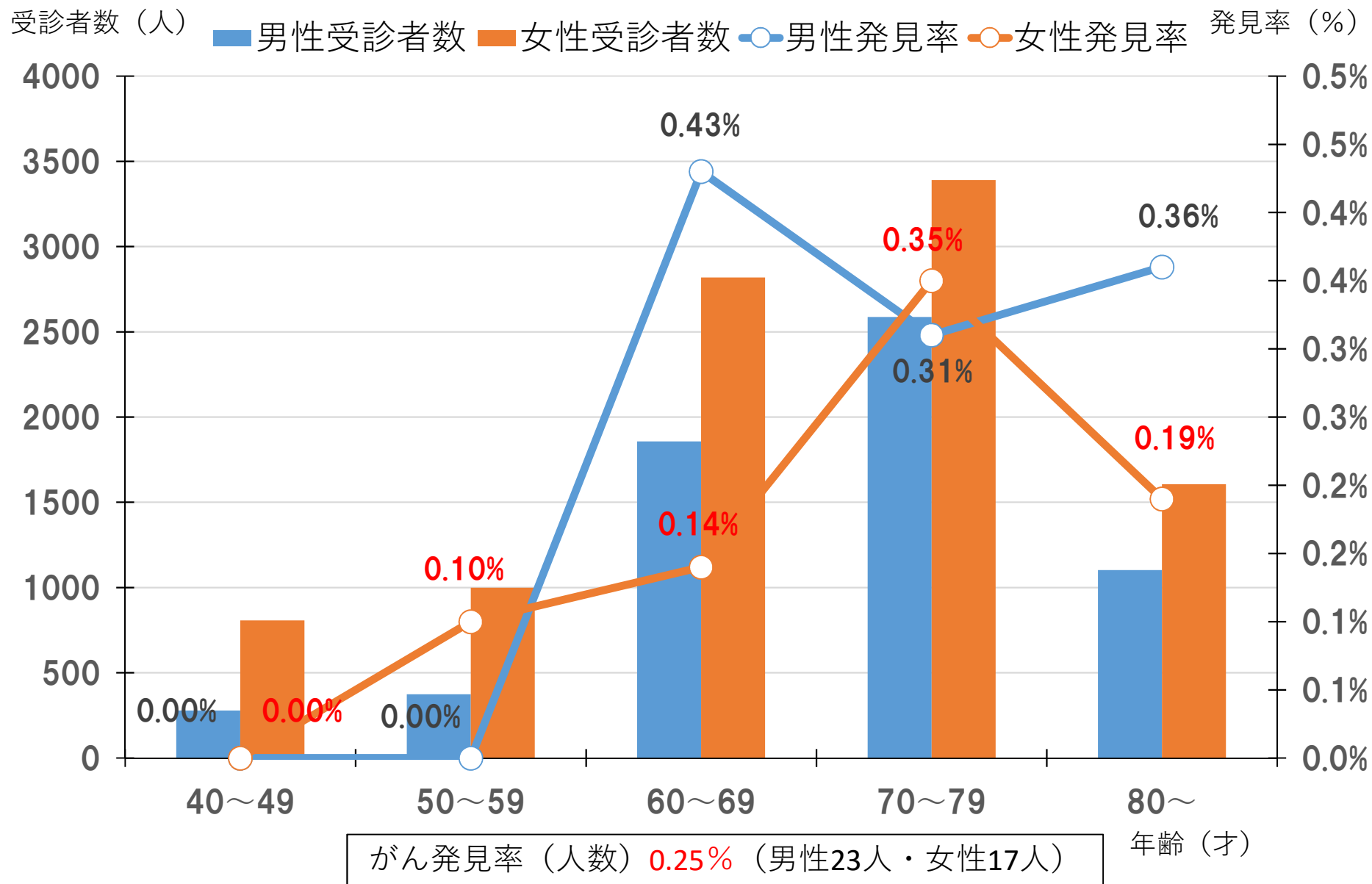
年齢別精検受診率(個別)



受診者数とがん発見率(集団)

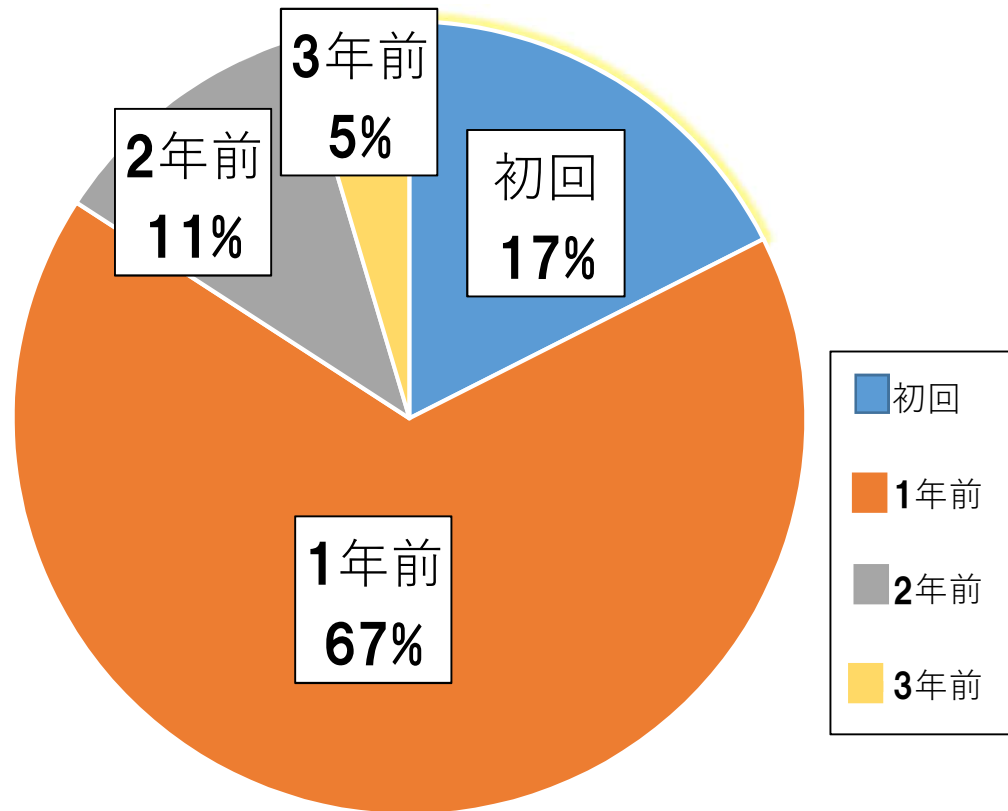


受診者数とがん発見率(個別)

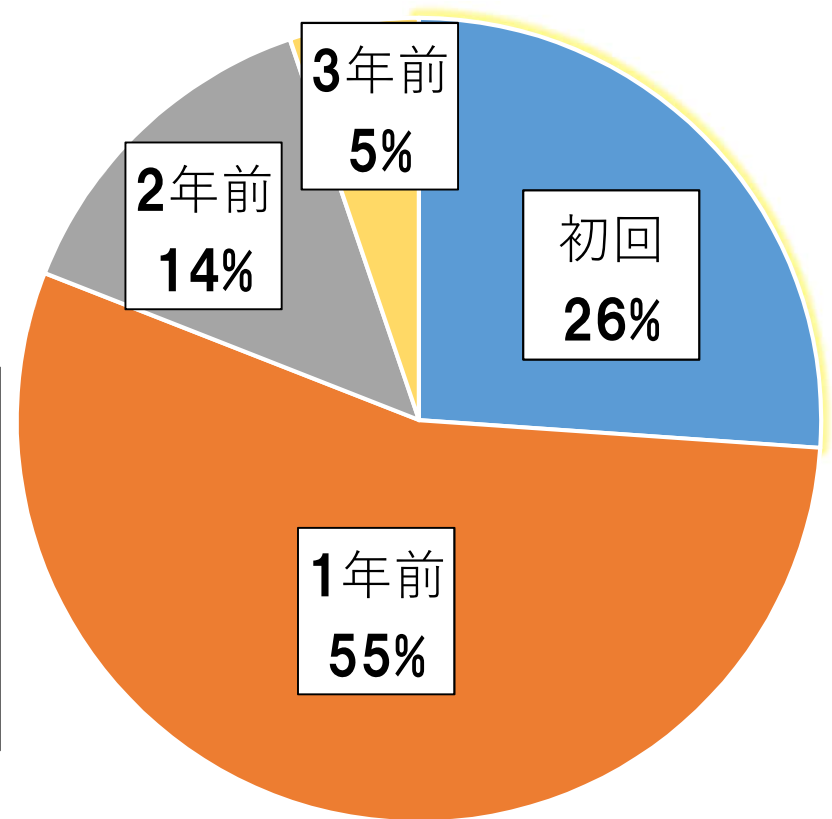


受診歴

集団検診 (37,121人)



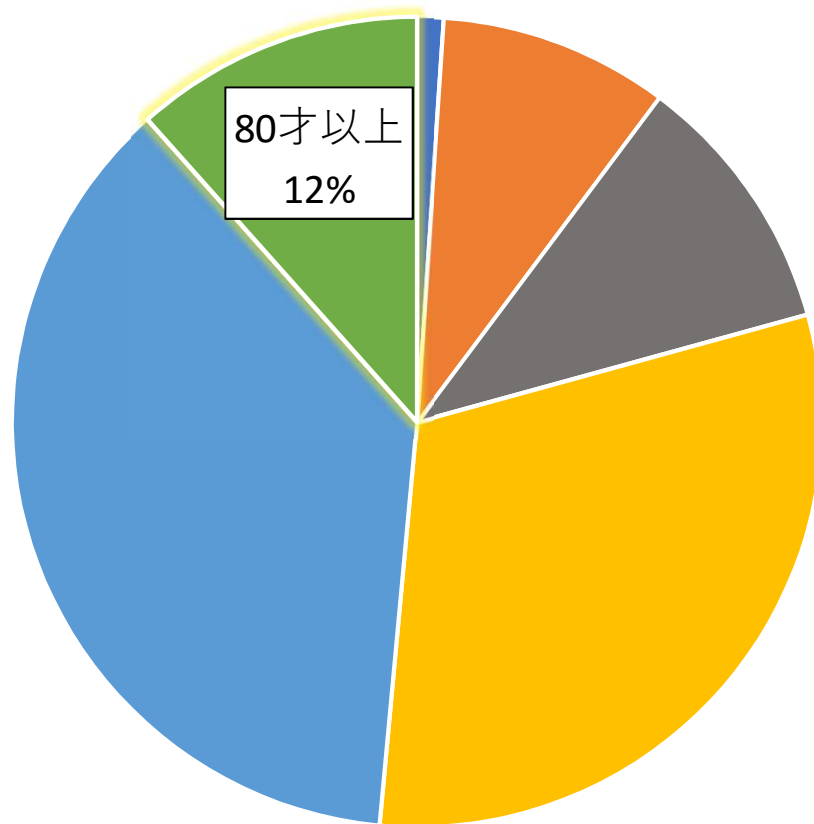
個別検診 (15,821人)



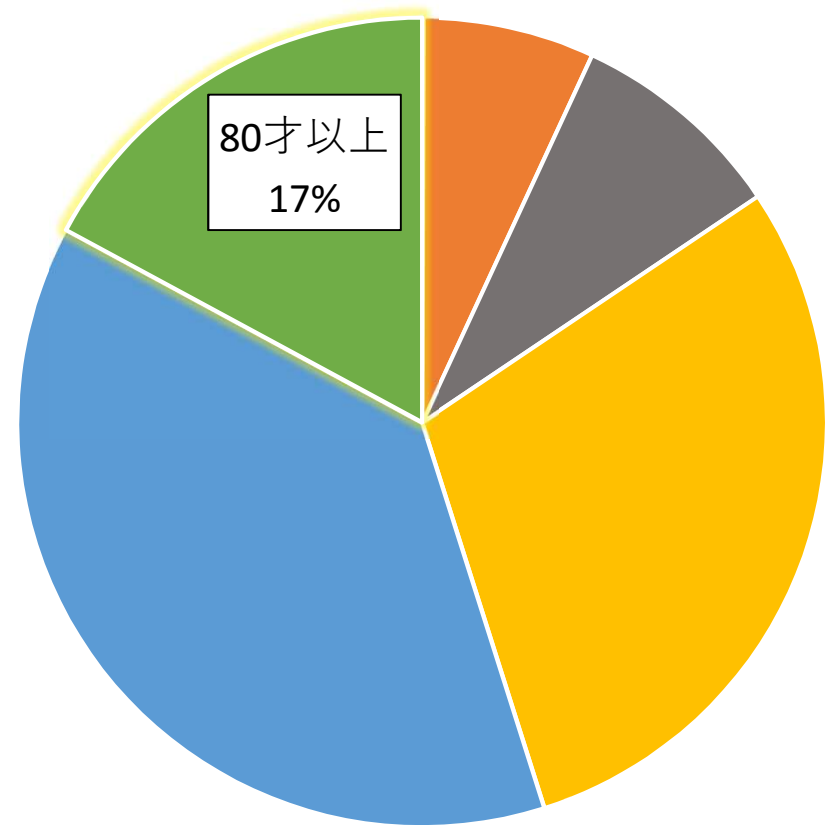
※ 初回受診とは、検診を初めて、又は4年以上前に受けた方

受診者の年齢区分別割合

集団検診 (37,121 人)



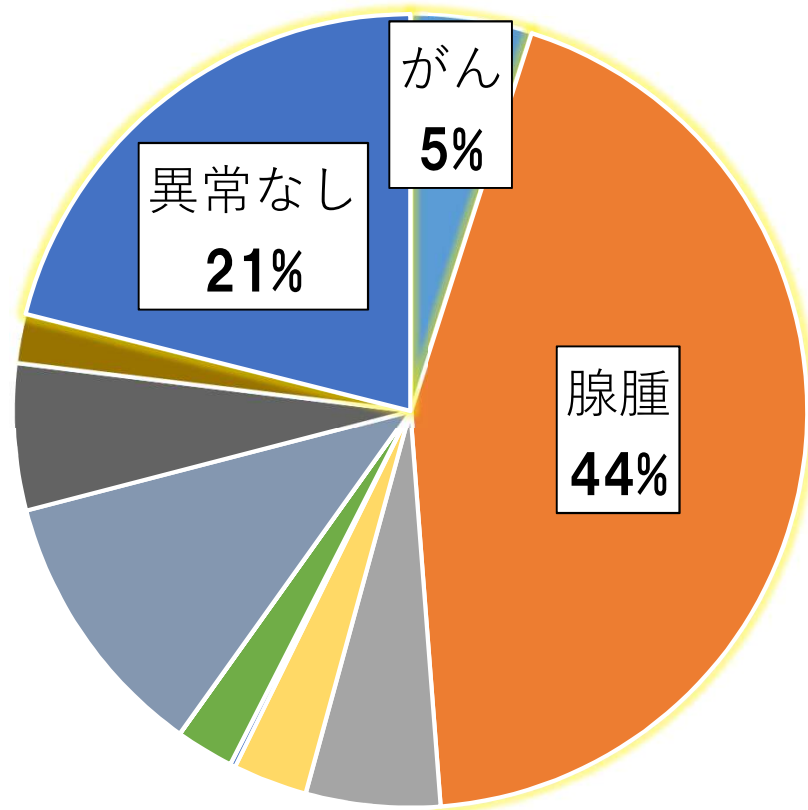
個別検診 (15,821人)



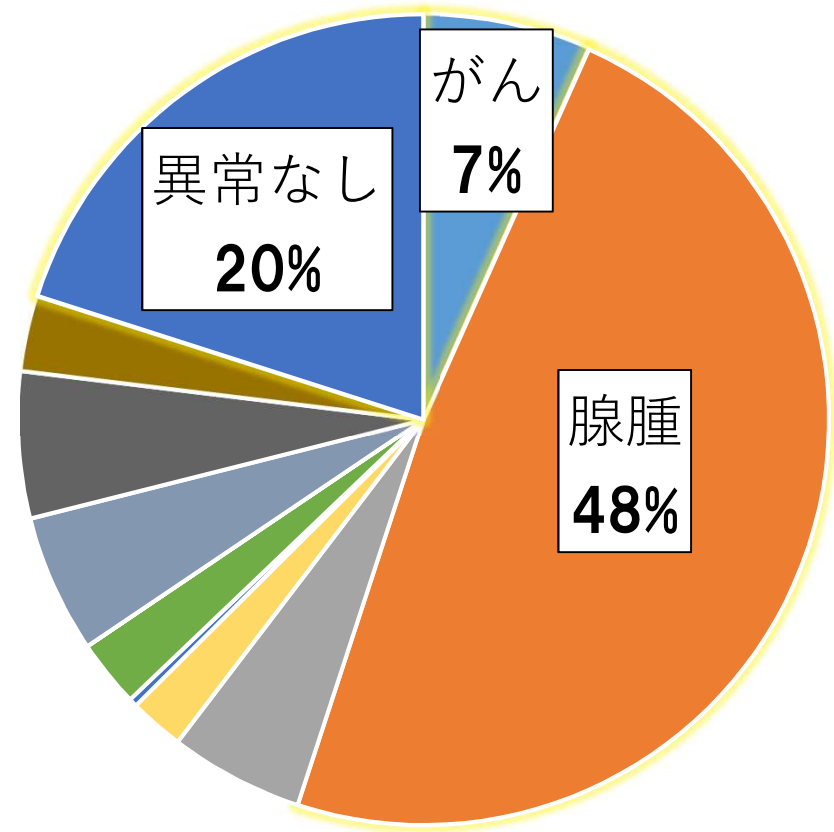
■40才未満 ■40～49才 ■50～59才 ■60～69才 ■70～79才 ■80才以上

精密検査結果

集団検診 (1,353人)



個別検診 (598人)

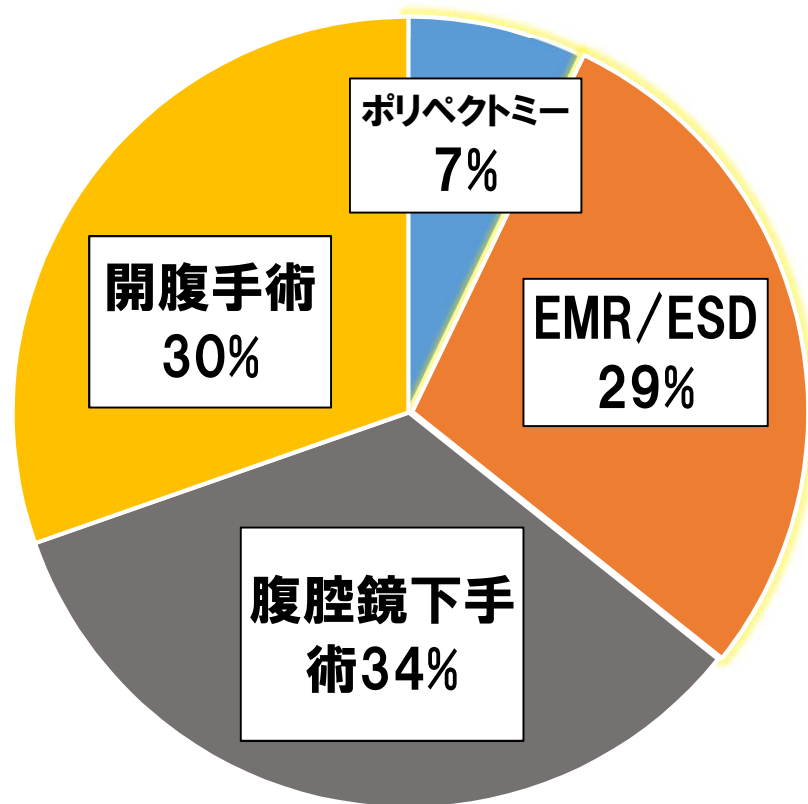


発見大腸がん症例数

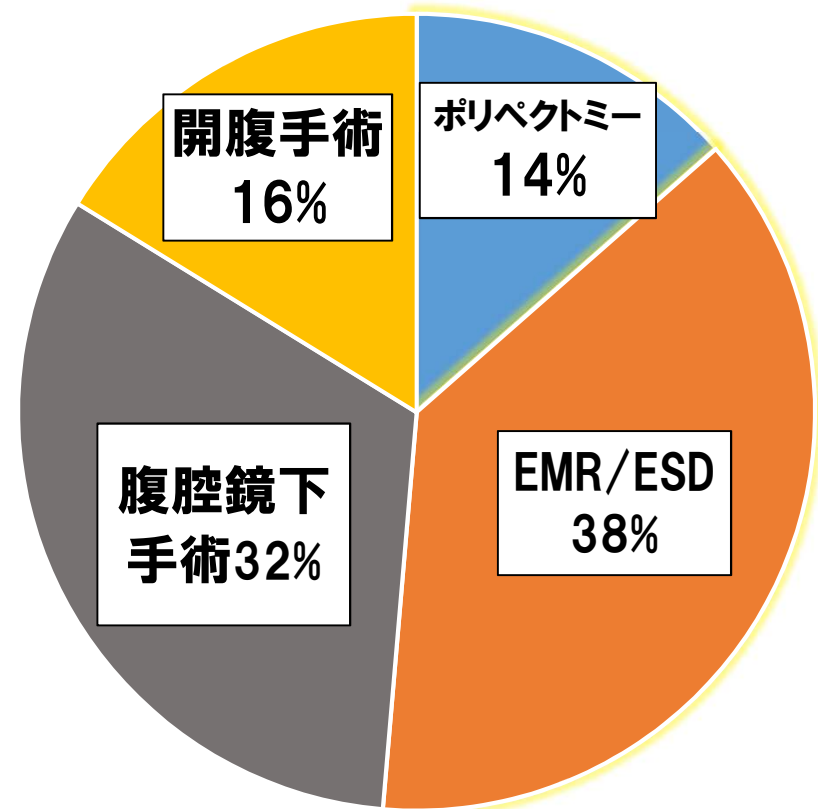
集団検診	個別検診
総数 67例 早期 43例（早期がん比率64.2%） 進行 24例 ※症例報告書未報告 10例 ※無治療 1例	総数 40例 早期 23例（早期がん比率57.5%） 進行 17例 ※症例報告書未報告 2例 ※化学療法 1例
報告症例数 56例 早期 35例 進行 21例	報告症例数 37例 早期 22例 進行 15例

治療方法

集団検診 (56人)

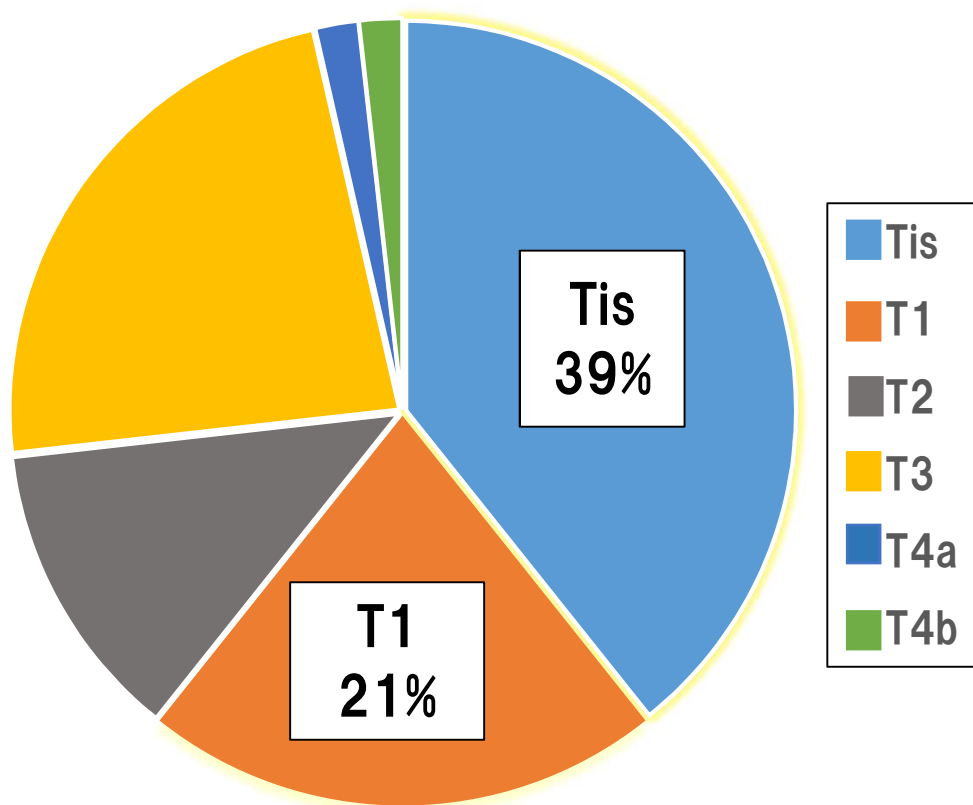


個別検診 (37人)

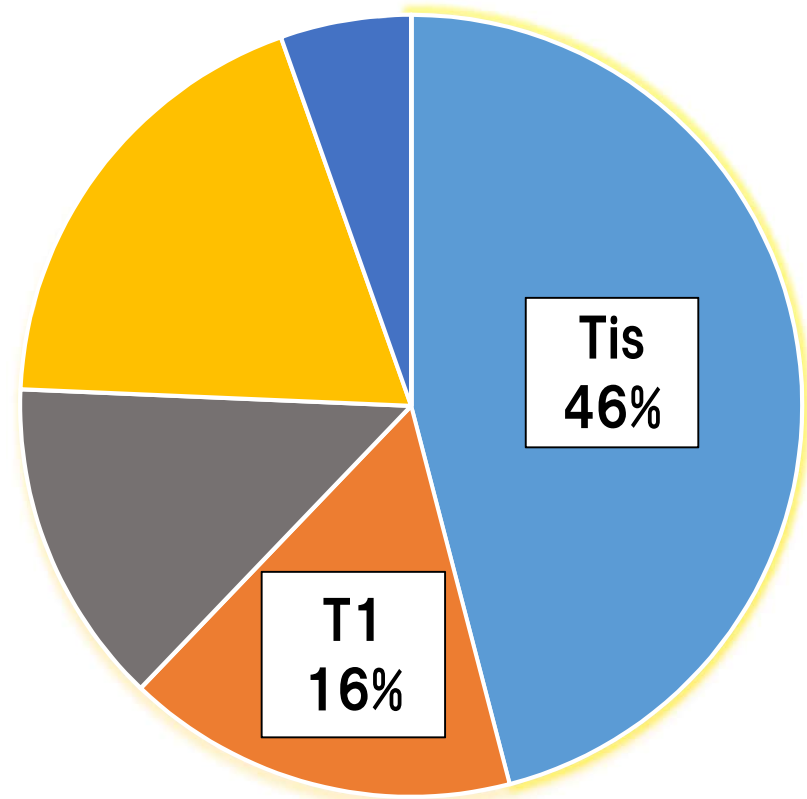


深達度

集団検診 (56人)

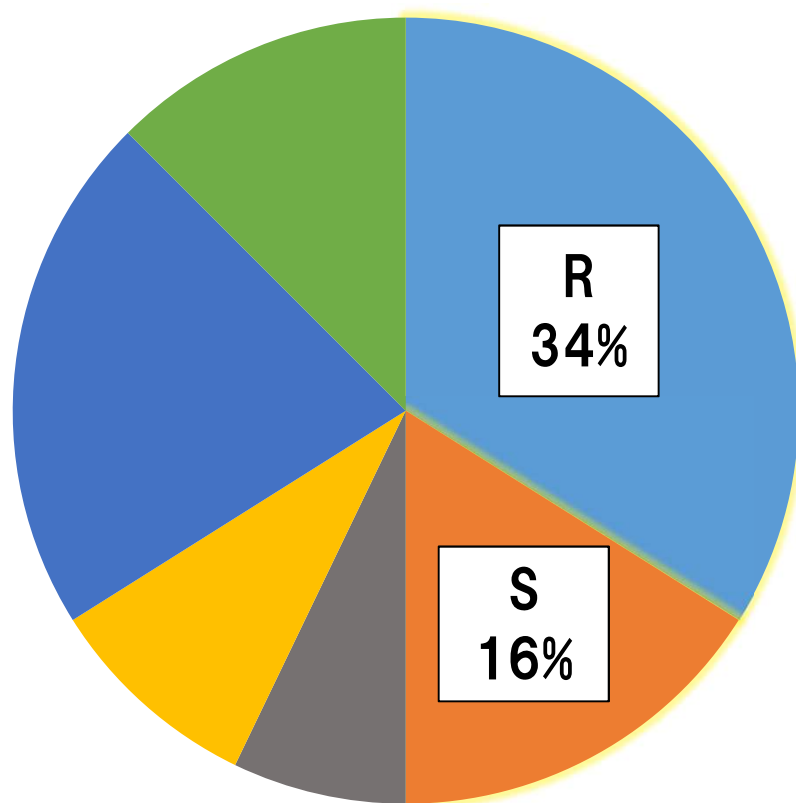


個別検診 (37人)

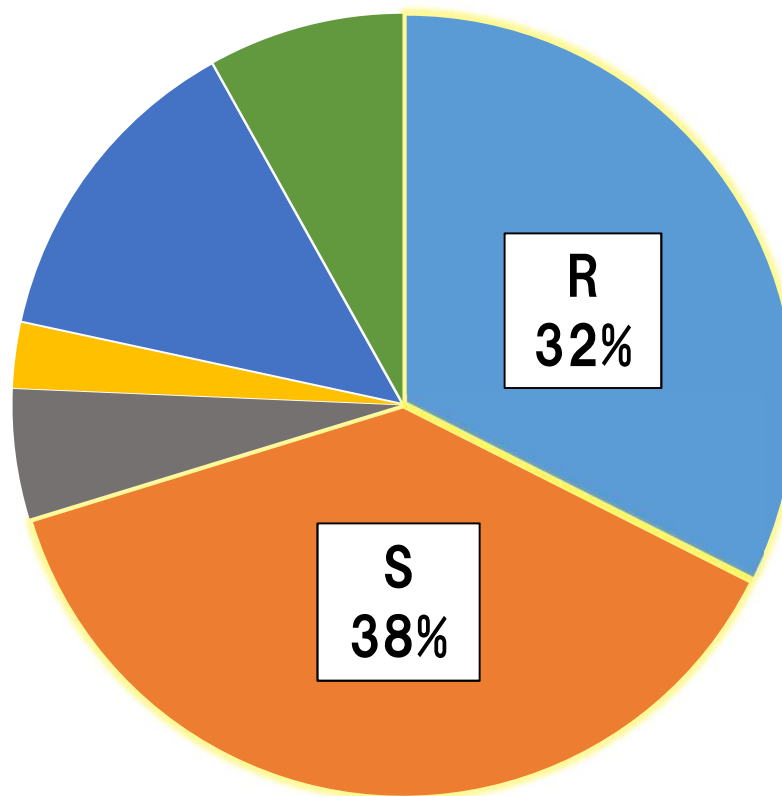


占拠部位

集団検診 (56人)



個別検診 (37人)



受診歴とDukes分類

受診歴	集団検診					個別健診				
	DuKesA	B	C	D	例数	DukesA	B	C	D	例数
初回	14 (67%)	4	2	1	21	10 (59%)	3	4		17
1 年前	25 (78%)	4	2	1	32	15 (100%)				15
2 年前	1 (100%)				1	2 (50%)	1	1		4
3年前	1 (50%)	1			2		1			1
計	41 (73%)	9	4	2	56	27 (73%)	5	5		37

※ 初回受診とは、検診を初めて、又は4年以上前に受けた方

1年前の受診歴がある症例の深達度と占拠部位

集 団 32例		深達度	R	S	D	T	A	C
早期	Tis		7	1		2	1	1
	T1		2	2		1	1	2
進行	T2		1		1		2	1
	T3		3				2	1
	T 4 a					1		

個 別 15例		深達度	R	S	D	T	A	C
早期	Tis		4	3	1		0	1
	T1			1			1	
進行	T2		1	1 (前年度便潜血陽性)			1	1

1年前の受診歴がある進行がん症例

1年前の便潜血	陰性	陽性	合計
集団検診	11	0	11
個別検診	3	1	4

1年前の受診歴がある進行がん症例で1年前大腸の便潜血陽性症例

個別 検診	性別 年齢	肉眼的 分類	部位	大きさ mm	深達 度	Dukes	1 年前
	女性,72	2型	S	33	T2	A	精検未受診

* 集団検診 1年前要精検者なし

1年前に便潜血陰性の進行がん症例(集団検診)

性別 年齢	肉眼的 分類	部位	大きさ mm	深達度	D u k e s 分類	S T A G E
女性,72	2型	R	40	T 3	D	IV
男性,77	2型	A	20	T 3	C	Ⅲ a
男性,69	2型	T	70	T 4 a	C	Ⅲ a
女性,71	2型	C	45	T 3	B	Ⅱ
女性,70	2型	A	23	T 3	B	Ⅱ
男性,67	2型	R	20	T 3	B	Ⅱ
男性,80	2型	R	61	T 3	B	Ⅱ
女性,62	2型	C	30	T 2	A	I
男性,67	2型	D	30	T 2	A	I
男性,72	2型	A	25	T 2	A	I
女性,82	I s p	A	20	T 2	A	I

1年前に便潜血陰性の進行がん症例(個別検診)

性別 年齢	肉眼的 分類	部位	大きさ mm	深達度	D u k e s	S T A G E
男性,71	2型	C	34	T 2	A	I
男性,77	2型	A	8	T 2	A	I
女性,67	1型	R	26	T 2	A	I

まとめ

- 1 受診者数は平成28年度に胃がん検診が隔年検診となった影響から、回復し平成29年度と比べ**1,183人**の増加となった。
(集団検診－**775人**、個別検診＋**1,958人**)
- 2 要精検率は集団検診は**4.9%** (前年比＋**0.1%**)、個別検診は**5.5%** (前年比＋**0.1%**) で増加した。
精検受診率は集団検診は**73.9%** (前年比＋**5.0%**)、個別検診は**69.2%** (前年比＋**2.2%**) で前年度より高くなった。
がん発見率は集団検診で**0.18%**、個別検診で**0.25%**であった。
- 3 大腸がん発見数は集団検診で**67症例** (早期**43**,進行**24**)、個別検診で**40症例** (早期**23**,進行**17**) であった。

まとめ

- 4 今後の受診者数増加の為には、広報、受診勧奨、市町との連携等で、年1回検診の周知と検診の必要性を認識して頂き、集団検診の受診者数の回復を目指さなくてはならない。
また精検未受診者に対する精検受診勧奨にも力を入れて行きたい。